

「参加している子どもたちが真剣に取り組んでいる姿を見ることができました。」

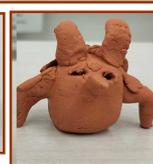
興津生涯学習交流館の夏休み子ども講座で、はにわが作られた意味や経緯を学習し、実際に粘土を使ってミニはにわを作ることで、歴史や文化遺産に対する興味・関心を高めることを目的に、小学生24人がミニはにわ作り体験を行いました。

ミニはにわ作り体験

はにわ作りの前に、はにわが古墳の周囲や頂上に並べられていたことや権力者の生前の暮らしを再現したものであることなど古墳時代について簡単に説明しました。

次は、いよいよはにわ作りです。串やへらなどの道具の使い方を説明しながら、土の粘土の特徴を話しました。子どもたちは、はにわの形をどうするか考え、胴体部分と部品部分を切り分けました。胴体部分の粘土をこねながら、ヒビが入ってくると指に水をつけて表面をつるつるにしました。次に部品を「初めてのことから、昨日からワクワクしていました。」

「学校の授業で歴史の勉強をしていて、はにわの話が出ました。どうやってはにわを作るのか気になっていました。今日は作って、勉強もできて良かったです。」



担当職員さんの感想

「参加している子どもたちが真剣に取り組んでいる姿を見ることができました。時間内に完成し、はにわについての説明が分かりやすかったです。センターの職員さんが二人で対応してくれて、丁寧に指導してくれました。無料でかわいらしいはにわができ、本当にありがとうございました。」